

## 令和5年度 第3回長浜市図書館協議会

日 時：令和5年9月11日 月曜日 13時30分～14時00分

場 所：ながはま文化福祉プラザ内 まちづくりセンター2階 2AB会議室

出席者：國松完二会長, 川瀬寛子副会長, 阿閉正美委員, 小北晶男委員, 三田村悦子委員,  
藤居みよし委員(遅れて出席), 福本恵祐委員, 吉田浩之委員, 中村向里委員

欠席者：山内真紀委員

事務局：下司生涯学習課長, 森長浜図書館長,

伊藤図書館企画サービス係長, 伊吹図書館総務係長, 板谷主事, 佐治司書

傍聴者：なし

### 【開会】

定数10人のうち8人の出席により会議成立の旨を宣言し、長浜市立図書館管理規則第18条により、会長が議長となり会議の進行を行った。

### 【開会挨拶】

会 長： 9月中旬ということで、例年では少し過ぎしやすくなる時期であるが、今年はまだ暑い日が続く。この夏は図書館の運営も大変だったと思う。今後は秋の読書週間に向け、様々な活動がなされていくと思う。

最近、再び新型コロナウイルス流行の兆しがあったり、インフルエンザの感染が広がってきたりしている。学校では新学期になった途端に、学級閉鎖になっているところもある。図書館活動の面から言うと、まだコロナ前と同じようにはできないものもあると思うが、職員は少人数で頑張っていると思う。

さて本日は、評価書の案の中身を協議して確定し、公表に向けて図書館で取り組んでもらう。前回に引き続き、皆さんには協議をお願いする。

前回にも外部評価案は出したが、小委員会の議論を中心にまとめたものであった。前回の会議後に会長の方で確認し、中身の修正等も含めて最終案を出した。いま皆さんの手元にあるのは、主に委員意見としての記述をより細かくしたものである。外部評価であるABCD評価については、小委員会での意見を尊重し変更していない。前回の案では、委員意見の部分に比較的簡単に短い記述も見受けられたが、会長として思うのは、外部評価というものは具体的な数値が目標に挙げられており、経過としてどこまでできたかを見るもの。そこで、それぞれの業務について頑張っていることは承知しているが、あえて数値に基づいた評価について言及する形をとった。その上で、指標項目を達成できたものも、できなかったものもあるが、これから、来年度に向けてどう取り組んでほしいかという観点でまとめた。委員意見の部分が文章的には長くなったが、そういう前提で見てほし

い。

また、最終的には評価書の最初に、会長名で協議会としてのコメント（講評）を述べる。新館がオープンして3年が経過するが、やはり一番の目標は、できるだけ多くの市民にたくさん利用してほしいということ。1ページの指標項目1、個人貸出冊数は、評価全体の指標の中で、協議会としても一番重要と考えている。非常にタイミングが悪く、開館した翌年から3年間ずっとコロナ禍となり、人が集まりにくい状況となった。個人貸出冊数も令和4年度については減少となり利用が落ちたが、職員の日頃の取り組みや頑張りを見定するものではなく、この指標を重視した活動を今後も続けてもらいたいという観点である。このような前提で、全体の評価を終えてという形の講評を提出した。今後、事務局とともに整えてまとめる。

本日は図書館協議会としては30分ほど、評価の中身を確認願いたい。まず、まとめ直すに当たって図書館の方から何かあるか。

館長：今回、会長の意見を受けて、前回の会議でお示ししたもので出来上がりとして申し上げていたにもかかわらず訂正することになりお詫びを申し上げる。事務局としては、この実施プランの評価は、文言の整理を含めて形式上のものではなく、実効性のあるものとして今後も機能させていきたいと思うので、具体的に指摘などもいただいたことで来年度以降しっかりと取り組んでいきたいという思いに至った。改めて協議いただきたい。

会長：では、評価案について確認を進める。どの部分からでも構わないが、小委員会のメンバーの意見はどうか。ほかの委員からも何かないか。

委員：大変詳しくまとめていただいた。比較してみると、年度によって内容が違うがより具体性があったよかったです。

委員：小委員会の指摘が甘かったと反省している。確かによくまとまっている。

委員：書きぶりをもっと丁寧に見るべきであった。

委員：具体的に書いたことでコロナ禍の変容がよりわかりやすくなった。

委員：小委員会に参加していたが、同じく指摘が甘かったと思う。小委員会のその場では空気で伝わっていることを、伝わるように言葉でも表すのは難しいと感じた。

会 長： 図書館協議会は図書館を応援する味方と捉えがちだが、運営の状況を味方という立場を超えた別の立場で見ることも大切。年度ごとに、よくできたところとできなかったところをしっかりと書くことも市民にとって大切であるので、今年はこのようにまとめた。最終チェックは事務局でおこなってもらおう。

(藤居委員参加)

委 員： 特に意見はない。

会 長： ではこの評価書に基づいて事務作業を進めてもらうことになるが、この後はどのような流れになるか。

事務局： 講評を会長にいただき、現在精査中である。会長と相談して整えた後、完成版としてまとめ、配布と公表を急ぎたい。

会 長： 最終版については講評の文章も含めて、みなさんにお知らせすることになると思うのでよろしく願います。その他は事務局からないか。

事務局： 本日、席に配っているチラシについてお知らせする。9月17日(日)に「図書館の便利な使い方ミニ講座」を開催予定。利用が久しぶりで躊躇している人、また現在利用している人にも、より便利な図書館の使い方を案内する講座である。よければご参加・お知り合いへのお声がけいただきたい。

会 長： どういう部分を知りたいと思って、市民が参加する想定は講座か。

事務局： 本の並び方を案内したり、求めている資料の探し方やWeb予約の方法を説明したり、図書館にない本でもリクエストができることを伝える予定。これにより、今後の利用にもつながってほしいという狙いもある。

閉会